

Suzuran Vol.8

http://www.suzuran.com.n.c
p://www.suzuran.com.n.c
cp://www.suzuran.com.n.c

http://www.suzuran.com.n.c
http://www.suzuran.com.n.c
http://www.suzuran.com.n.c

すずらんの家、遊園地での出来事

すずらんの家では、クッキーとケーキを製造販売しています。地域の中で職人技の仕事と、温かみのある味とが評判で、利用者が生き生きと製品づくりに励んでいます。

そんな折、行事の一環として、利用者13名と職員4名とで小田急沿線の遊園地へ出かけました。

午前中、乗り物（アトラクション）を楽しんだ後、午後もはりきって同様の乗り物に乗ろうとした時のことです。ジェットコースターに女性2名で乗り、職員は少し距離をおいて見守った。その後、男性2名と職員1名とで乗ろうとすると次のような会話が交わされました。

係員：「規則上、障害者1名につき付添い1名が必要です。」

職員：「午前中は2名だけで乗ったんですが、対応が違うじゃないですか。」

係員：「上の人の指示がありましたので。」

職員：「あ、そうですか？」

後日遊園地へ電話で問い合わせ、遊園地職員との会話

施設職員：「午前と午後の扱いはどちらの遊園地としてはどちらが正しいのですか。」

遊園地職員：「障害者1人につき付添い1人が必要で乗り物担当者への指示が徹底していませんでした。午後の対応が正しいです。」

施設職員：「どうしてそういうことになるのですか。」

遊園地職員：「事故が起きた時には、遊園地側の責任となるので困るんです。」

施設職員：「私達は事故が起きない体制で、責任が取れる体制で遊園地に来ているんです。利用者の中には1人で乗り物を楽しめる人もいるんですよ。」

遊園地職員：「そんな人たちはかりではありません。私達には障害の程度を判断することができないで、障害者としてひとくくりでしか対応できません。」

施設職員：「昨年度われわれの法人内にある別の施設でこちらを楽しんだのですが、いつからこうなのですか。」

遊園地職員：「以前からです。」

施設職員：「でしたらパンフレットに1対1が条件であることを明記してください。他の遊園地にも行きましたがこんな扱いははじめてです。」

遊園地職員：「障害者1人につき付添い1名が必要との指導が行政からきていました。事故を防ぐためにも今後はだんだん厳しい方向になっていきます。」

このやりとりでお互いの気持ちは通じあえたのでしょうか。利用者の乗りたい気持ちを実現させたかった施設職員、安全かつ充分に遊園地を楽しんで欲しい遊園地職員、双方の思いは同じはずなのにどこかですれ違っているように思えます。

異なる立場を理解しあい、各々が接点を求めて近づいていく努力をしなければ、バリアフリーは実現しないと思います。

今年度、広報グループではシリーズを通してこのバリアをどれだけ埋めていけるかの試みをしていきたいと考えています。

【ニューエリア紹介】

＜地域活動センター＞

フィルイン

メンバーがお面を作っている。

各々のお面の表情は饒舌で色々なことを話しかけてくる。

セラピストがお面をつけたメンバーに問いかける。

あなたは どなたですか？

どこから いらっしゃいましたか？

これから どこへいくところ？

透明人間です。 おこった女です。 あつし君はジロウですと名のった。

なにをおこっているんですか？ セラピストがつづけて問いかける。

こんなかおになってしまっておこっています。 彼女はこたえた。

みんなどこへ行こうとしているのだろう。

フィルインは新しいタイプの活動センターです。

利用者の進路選択に際し、作業所や就労施設だけではなく、大学や専門学校、予備校のような活動センターがあつてもいいのではという思いで、4月より開所しました。

定員は15名。作業、学習（算数・国語・英語）、実習（調理、美術）、活動（体育・ボランティア）、心理（心理療法・音楽療法）を5つの柱として、講師の先生方をお呼びして活動しています。

個人別に一週間のプログラムを作成し、その達成感による自信や、多くの人と関わることによって、人間関係の構築や自我を発展させていくことを目標としています。

相模原市南台3-15-4ルイ南台101

042(712)1945 担当：野口

＜グループホーム＞

さんとらっぷ

JR相模線相武台下駅下車、徒歩2~3分のところにグループホーム“さんとらっぷ”があります。まわりはのどかな田園が広がり、住環境としては一等地といえそうです。女性限定・定員5名。1階は食堂兼リビングとプライベートルーム2つ、2階は3つとお風呂があります。プライベートルームは、フローリングの清潔感ある部屋で、女の子らしくたくさん人形を飾ったりしています。

世話人は、山本さんと山下さん。親子のような二人が、おいしい料理を作り、身の回りの世話や、みんなの相談にのっています。夜8時半になるとビーグル犬“ボブちゃん”的手荒いキス攻撃が始まります。とっても和気あいあいとした、笑いのたえないグループホームです。



うわさのボブちゃん

相模原市新戸1686-1

046(293)1888 担当：山本

<生活支援あいあい>

ガイドヘルパー大募集！！

～有償ボランティア～

生活支援あいあいでは、法人内利用者からの声をもとに毎月、面白いツアーやイベントを企画し、実施しています。例えば、「東京ドームのジャイアンツ戦観戦ツアー」や「東京ディズニーランド・クリスマスファンタジーツアー」そして「モーニング娘コンサート観覧ツアー」等々。そこで、利用者の余暇活動をお手伝いいただける好奇心旺盛なガイドヘルパーを募集しています。この活動を通して利用者と共に喜びを分かち合い、新しい発見に心躍らせる体験をしてみたい方々のご参加を利用者は心待ちにしています。

また、相模原市でも今年度より知的障害者ガイドヘルプ事業が始まりました。こちらでもガイドヘルパーを大募集しています。

「ガイドヘルプって何?」、「障害者と接したことがない・・・」など、はじめは不安があるかもしれません、興味や関心がある方はぜひお気軽にお問合せください。

姫姫 れいれい
相当 大輔
電話 042-749-8881

就労援助交流会

交流会が近づいた数週間前、昼休みにスタッフの携帯電話がよくなつた。「お知らせ、まだ来ないけど・・・」「今度は参加するから。」等等。交流会を楽しみにしていることが伝わってくる。昨年から始めた交流会が、そろそろ皆さんの職業生活のアクセントになりつつあるようだ。

3回目となった今回の交流会は、マイクロバスをチャーターして相模湖ピクニックランドへ出掛けた。当日はあいにくの曇り空だったが、バスの中から始まった皆さんの交流は賑やかで、初対面の人達もいたのに、開放的な明るい空気がいっぱい。「毎日、残業だよ。」「土曜日も仕事なの。」「おつかないおばさんがいるんだ。」等等。

普段ならグチになりそうな話が、この日は皆、誇らしげに語り合っていた。ガイドヘルパーさんの援助もあり、17名という参加者が大きな輪となって相模湖ピクニックランドの深い緑の中を闊歩した。メインイベントのバーベキューは食べ放題！一生懸命焼く人、一生懸命食べる人、それぞれの活躍ぶりはまさに“逞しい”の一言だ。帰りの時間が近づくころには、お互いの携帯電話の番号を教えあったり、名残を惜しむ姿も。「次は一泊旅行ね！」と、次回の交流会への希望も出され、楽しい一日を終えた。翌日からはまたそれぞれの職場での生活が始まる。

帰路に着く皆さんの後姿は、社会人としての自信に溢れていた。

(渋井記)

苦情解決の制度が発足しました

苦情解決第三者委員
日比野 福二郎

四月から社会福祉法人すずらんの会に、苦情解決の組織が設けられましたことは、既にご存知のことと思います。

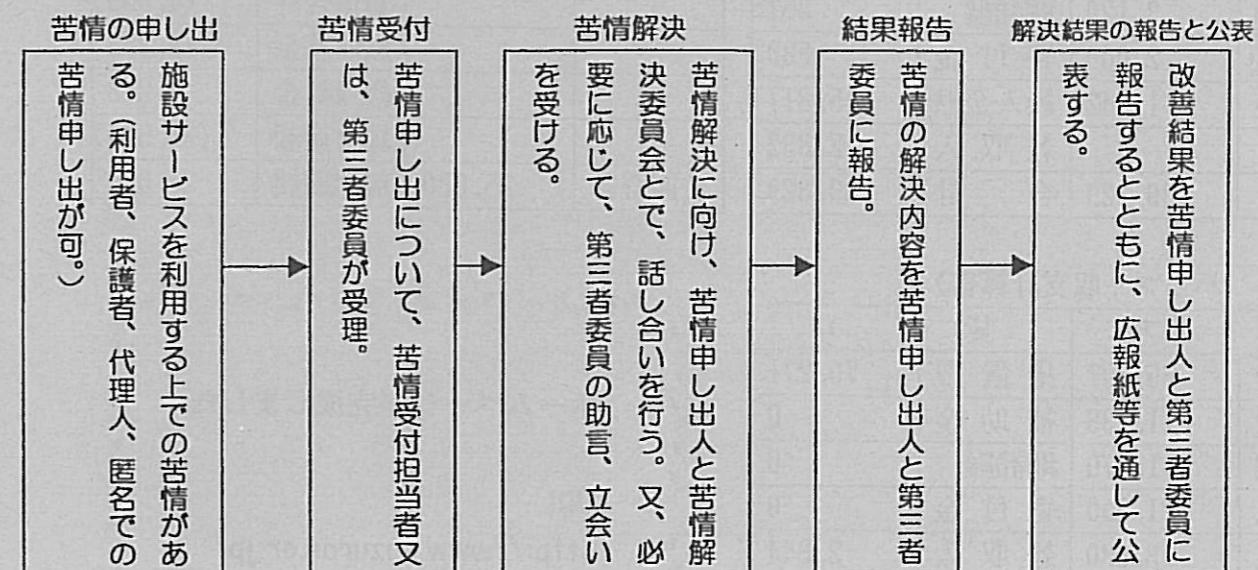
今日、福祉に関する事業につきましては、昨年発足をみました高齢者の介護保険制度をはじめとし、福祉に係わる多くの事業が活動しているところですが、すずらんの会における事業は、「地域生活を支える」、いわば利用者の将来がかかったものだけに、単にサービスを提供し、これを受ける施設ではありません。

- ①仕事を学び、身につける
- ②仕事を通し、社会との結びつきを
- ③共同生活から自立化の行動を

願い、施設運営にも最大の負心を重ねて、取り組んでいるところでございますが、利用者の方々や保護者との間に、目的と施設の運営面で「相互の信頼関係」こそが極めて大切なことは言うまでもありません。要は、立場の違いを認め合うことから「新しい変化」を生じさせることだと考えられます。その為に、どんな小さなことでも、改善や工夫が必要と思われましたなら、この制度を効果的に活用していくだければと存じます。

最後に変化を望むには、「創意と工夫と努力」が必要であることを申し添えます。

苦情解決の流れ



第三者委員は川島光義さん、日比野福二郎さん、高橋隆明さんの3名で構成されています。
各委員のプロフィールについては、次号で紹介させて頂きます。

社会福祉法人すずらんの会
平成12年度 決算報告

(単位:千円)

《法人全体 財産目録》

資産の部		負債の部	
基本財産	889,640	流動負債	24,242
運用財産	207,021	固定負債	267,200
		引当金	45,000
		積立金	3,030
資産合計	1,096,661	負債合計	339,472
差し引き正味資産			757,189

《本部会計:貸借対照表》

借 方	貸 方
流動資産	12,932
固定資産	895,668
	負債合計
	(273,346)
	基金
	895,668
	積立金
	-267,200
	繰越金
	6,786
	純財産合計
資産合計	(635,254)
908,600	負債・純財産合計
	908,600

《本部会計:収支計算書》

借 方	貸 方
事務費	6,440
補助金	51,546
元償還金	22,216
寄付金	90,700
繰入金	37,518
繰入金	5,090
雑支出	0
雑収入	906
繰越金	437
合計	66,611
合計	66,611

《ワークショップ・フレンド:貸借対照表》

借 方	貸 方
流動資産	14,431
固定資産	82,011
	引当金
	44,000
	負債合計
	(50,057)
	運営基金
	38,011
	繰越金
	8,374
	純財産合計
資産合計	(46,385)
96,443	負債・純財産合計
	96,443

《ワークショップ・フレンド:収支計算書》

借 方	貸 方
事務費	117,262
措置費	113,769
事業費	15,405
補助金	6,173
繰入金	3,120
棚卸金	357
引当金	2,000
寄付金	880
繰越金	1,542
繰入金	15,317
雑収入	2,832
合計	139,329
合計	139,329

《グリーンハウス:貸借対照表》

借 方	貸 方
流動資産	6,277
固定資産	19,353
	引当金
	1,000
	負債合計
	(4,059)
	運営基金
	18,353
	繰越金
	3,218
	純財産合計
資産合計	(21,570)
25,630	負債・純財産合計
	25,630

《グリーンハウス:収支計算書》

借 方	貸 方
事務費	65,507
措置費	70,271
事業費	11,439
補助金	0
繰入金	1,970
棚卸金	0
引当金	1,000
寄付金	0
繰越金	3,080
雑収入	2,344
合計	82,996
合計	82,996

〒228-0828 相模原市麻溝台7-1-7

社会福祉法人 すずらんの会

TEL (042) 749-8881

ホームページが完成しました♪

URL

<http://www.suzuran.or.jp/>

アクセスお待ちしてま～す☆彌